

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

### .理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### .安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### .サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!**

- サービス向上への3ステップ -

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホームさつき

(ユニット名)

記入者(管理者)

氏名

今井 志保美

評価完了日

平成 19 年 6 月 30 日

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年8月31日

【評価実施概要】

事業所番号	3870200767		
法人名	特定非営利活動法人 臯月		
事業所名	グループホーム さつき		
所在地	今治市泉川町1丁目1-29 (電話) 0898-32-1251		
管理者	今井志保美		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目5-19 扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成19年7月26日	評価確定日	平成19年8月31日

【情報提供票より】 (平成19年6月1日事業所記入)

(1) 組織概要			
開設年月日	平成15年10月8日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	11 人	常勤	7人, 非常勤 4人, 常勤換算 9.1人
(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	21,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有( 円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有( 円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		
(3) 利用者の概要 (平成19年6月1日現在)			
利用者人数	9 名	男性 3 名	女性 6 名
要介護1	2 名	要介護2	0 名
要介護3	3 名	要介護4	3 名
要介護5	1 名	要支援2	0 名
年齢	平均 88 歳	最低 81 歳	最高 99 歳
(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>レクリエーションや創作活動、パズルや計算問題等、その方の得意不得意に合わせて声かけて支援している。また、小鳥の世話や生け花、庭で草木を愛でる等、その人の関心事や趣味に合った役割、楽しみを持って生活を送れるよう支援している。                  車椅子で入浴できる特殊浴槽を設置された。                  居間からは庭の草木の緑を楽しむことができる。七夕飾等、季節を感じるができるようなしつらえの工夫をされている。</p>
--

【質向上への取組状況】

<p><b>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</b></p> <p>・前回の評価結果を受けて改善計画を作成し、職員の会話のトーンへの配慮やテレビの音の調節等について検討された。</p>
<p><b>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</b></p> <p>・今回の自己評価は、管理者・職員全員で取り組んでいるが、意見や気付き等は少な目ではないかと感じておられた。</p>
<p><b>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</b></p> <p>・自治会から広報誌の配布に合せて、事業所の行事案内等を入れることについてアドバイスいただいた。</p>
<p><b>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</b></p> <p>・ご家族の来訪時、職員は、積極的に意見、要望がいただけるよう働きかけておられる。ご家族からは「よくやってもらっている」という声が多い。</p>
<p><b>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</b></p> <p>・運営推進会議等を通じて、自治会との交流が始まっている。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 法人及び事業所の基本理念として「支えあい・助け合い」を掲げており、利用者に家庭的な雰囲気の中で穏やかな暮らしと自分らしい生活ができるようホームの理念を作り上げており、地域の高齢者とそのご家族の助けになるようなホーム作りを目指している。		
			(外部評価) 「支えあい・助け合う」という事業所の理念のもと、地域の中で利用者個々が自分らしく穏やかな暮らしができるよう支えていくことを目指しておられる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) グループホームの理念は事務所トイレと居間にさりげなく明示しており、職員会においても度々取り上げて意識付けに努めている。また、機会を見て勉強会等も開催している。		定期的に申し送り時や昼休み等に利用者と職員が一緒に今にある理念を読み上げる等して、日々の生活から理念の浸透を図る。
			(外部評価) 法人代表者と職員は、職員会等で理念の実現に向けて話し合っておられる。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 入居当初に理念や基本的な取り組み姿勢については説明している。また、家族会や運営推進会議等でも事業所の理念を丁寧に説明している。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 管理者や職員は、利用者との散歩等でも近所の人達と挨拶をし親しく話をしている。また、近所の飲食店屋や小売店等は心がけて利用させて頂いている。		挨拶をしたり、気軽に話せるご近所の範囲をもう少し広げていきたい。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 冬にはお餅つきを行ったが、今治広報にお知らせを挟み周知・参加を呼びかけた。ご参加いただけなかったご近所にはお餅を配る等し、できるだけ交流の機会を持つようにしている。また、地域である敬老会や文化祭その他の行事にも参加をしており、近隣地域で行われる行事には参加を心がけている。		
			(外部評価) 運営推進会議等を通じて、自治会との交流が始まっている。		周辺環境等も活かしながら、地域との付き合いをすすめていかれてはどうだろうか。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 地域貢献は当事業所の理念でもあり、地域の高齢者、そのご家族に対し社会福祉面で貢献出来るよう活動しているが、反面、ご近所との関わりは決った方との関係性にとどまっている面もある。開設時には事業説明会やワークショップ等を行ってきた。		ホームでのイベントに積極的に地域の高齢者をお招きするなど、ホーム側から働きかけていくようにしたい。また、運営推進会議等でも良い案はないかうかがっていききたい。 ホーム内の充実を図りながら、介護福祉面でのワークショップや相談会等を行いたい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 評価することで自らの見直しができ、各項目内容を職員会や勉強会で取り上げ話し合うことで、意識向上につなげていく事もできた。また、評価を今後につなげるよう改善していった。		
			(外部評価) 今回の自己評価は、管理者・職員全員で取り組んでいるが、意見や気付き等は少な目ではないかと感じておられた。前回の評価結果を受けて改善計画を作成し、職員の会話のトーンへの配慮やテレビの音の調節等について検討された。		さらに、サービス評価を実施する上での事業所自身の気付きは、質の向上への最大の起点でもあり、評価結果を十分に活かした積極的な取り組みが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	<p>運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	(自己評価)		
			<p>会議ではテーマを上げ参加者と意見交換を行っている。そうした中で出される意見を吸い上げ、ホームの運営に生かしている。また、経過報告も会議の中で行っている。</p>		
			(外部評価)		
			<p>自治会から広報誌の配布に合わせて、事業所の行事案内等を入れることについてアドバイスいただいた。</p>		
9	6	<p>市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	(自己評価)		
			<p>当事業所を担当する地域包括支援センターの方に参考になるご意見や知識を幅広く聞かせて頂きサービスの向上につなげている。</p>		<p>市町村の関係者にもっと働きかけていかななくてはならないと思っている。</p>
			(外部評価)		
			<p>地域包括支援センターと連携を図り、質の向上に向けて取り組まれている。</p>		<p>さらに、市に対しても事業所の取り組みを知っていただけるような働きかけを続けていかれることが期待される。</p>
10		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	(自己評価)		
			<p>外部研修で学んできたことをホーム内で再度学習することで、職員一人ひとりの学ぶ機会を確保している。</p>		<p>職員全員が周知できているとはいえないので、研修会やホーム内の勉強会等にて積極的に学ぶ機会を作り、制度の理解を深める働きかけをしていきたい。</p>
11		<p>虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている</p>	(自己評価)		
			<p>新規採用に際しても、虐待が見過ごされることがない様きちんと話をし、注意を払っている。また、職員会や勉強会等でも虐待について問題意識を高める話し合いを行っている。</p>		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居時は段階を踏みながら、ホームの現状等の説明を行い、重要事項等の説明を丁寧に行っている。また、ご家族からの疑問点もうかがうようにしている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者との面会は自由にでき、利用者ご本人又は関係者が、意見や苦情等を職員等に訴えやすいようこちらから不便はないか問いかける等、意見の言いやすい環境作りを心がけている。また、直接言いにくい場合は意見箱を利用してもらうようにしている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 毎月、ご家族へは利用者の暮らしぶりが分かるようお便りを個別に作成し送付している。また、金銭の出し入れについては立替金等については領収書を必ず添付し、詳細に記帳する等を徹底し、ご家族にお送りしている。		
			(外部評価) 毎月のご家族への便りは、利用者の暮らしぶりや表情等が伝わるような内容となっている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ご家族が面会に来られた時には、利用者の暮らし等で気になる点があるかを尋ねて意見を反映できるようにしている。また、意見箱も設置して、匿名での意見も伺えるようにしている。		
			(外部評価) ご家族の来訪時、職員は、積極的に意見、要望がいただけるよう働きかけておられる。ご家族からは「よくやってもらっている」という声が多い。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 管理者だけでなく、運営者も踏まえた職員会議を月に1度は開催しており、その際に積極的な意見交換を行うよう、採用時及び常日頃からその重要性を伝えている。また、勉強会等においても職員からの意見はないか積極的に運営者から質問もしている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 利用者の状況に応じてパートタイマー職員配置等を考え、実践している。また、運営者自身が職員自身にもストレスがかからないような職員配置を積極的に考えている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 当ホームは1ユニット(定員9名)であり、退職以外での職員の異動はない。日頃から利用者の安定した暮らしに重点に置いた運営をしており、利用者に影響が出ないよう配慮している。		
			(外部評価) 職員間で話し合いができる体制が作られている。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) GH連絡協議会等の研修には、研修費の事業所負担や勤務上の支援を行い、積極的に全職員が外部研修を受けられる機会を設けている。更に、その外部研修内容を発表することで、未受講者へ伝えている。また、最近ではホーム内で勉強会を開催し、職員の意識向上につなげている。		
			(外部評価) すべての職員の希望等も聞き、年に1回は外部研修を受講できるよう計画されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)  連携施設や同業者との担当者会議に積極的に参加し、また、GH連絡協議会の研修や相互研修等にも意欲的に取組んでいる。		
			(外部評価)  連携グループの事業所への訪問や、研修会を通じて同地域の事業所とのネットワーク作りに努めておられる。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)  職員が時間と心にゆとりを持って働け、合理的な作業が進められるよう工夫している。また、運営者自身が積極的に職員の意見を傾聴し、勤務体制も無理のないよう日頃の運営に取り入れている。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)  運営者が常日頃からホームによく顔を出し、また実際に勤務に就くことで介護の実態を感じ取り、現状を知った上で職員の勤務状況や態度等を把握している。また、職員が職業意識や目的意識を持ち向上心につながるようにと考え、勉強会を開催している。		ホーム内での勉強会の開催頻度を上げ、更に充実させていく。
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)  入居前にはご本人と何度も会い、ご本人やご家族からこれまでの暮らしについて時間をかけて話をうかがい、聞きだせるように努めている。また、これまでの生活の様子を理解し、ホームでの生活がスムーズであるよう配慮し努力している。		



自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)  相談を受けた時から、どのような点に困っておられるか、また求めておられるのか、ご家族からの相談には誠意を持って応じ、それに応える努力をしている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価)  入居相談時等には、必要に応じて連携施設やグループの様々な支援体制があり、支援が可能であることを説明している。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価)  入居前にご本人にホームに来ていただく機会を儲けたり、必要に応じて体験入居制度をとっており、実際に多くの希望者がその制度を利用されている。その体験入居の中で、徐々に雰囲気を知ってもらい、充分納得された上で入居の手続きがとられている。また、社交的な利用者の傍に座って会話してもらおうとともに、職員も努めて声かけして安心できる雰囲気作りをしている。  (外部評価)  ご本人の関心のあること等についてゆっくりお話をされる等、職員は、利用者との関係を深められるよう取り組まれている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価)  料理の仕方や味を見てもらったり、教えてもらい、縫い物は手早くきれいに縫う方法を教えてもらいながら、生活の中で利用者から学ぶようにしている。  (外部評価)  訪問調査時、料理のことや味付け等について職員が利用者から教わるような場面がうかがえた。		介護度が高くなってきた利用者から学ぶ機会をもう少し工夫していきたい。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 積極的にホームに来てご本人と話し、過ごしていただくよう常日頃から望んでいる。また、一緒に散歩に出ていただくなど、ご家族の状況を考慮しながら、協力していただける点があればお願いしている。また、家族会を行ったり季節の行事等でご家族に参加を呼びかけ、皆で楽しめる機会を設けている。		ご家族とご本人との関わりについては、こちらからもっと働きかけをしながら、もう少し密にしていきたい。
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) ご家族には、ご本人のホームでの生活や心身状態をお便り等でお知らせして現状についてご理解いただいている。また、面会時等にはご家族の不安や心配事についてお聞きしたり、サポートしながら支援している。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 馴染みの人、友人、ご近所との付き合いが全く途切れてしまうことのないよう、面会時や散歩の際に積極的に話しかけている。また、会いたい人がいるなら連絡をして、会う機会を作る努力をしている。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 協力して生花を入れたり、気の合う者同士と一緒に入浴したり、居室訪問しておしゃべりしながらお茶を飲んだりしている利用者もおられる。また、利用者が孤立せぬよう、職員が間に入ったり話しかけたり、席の移動を考えたりしている。		利用者の状態によっては、相互に関わり合いが持てる状況を作ることが難しい場合もある。
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 一度ホームに入居された方は、ご家族とも密な関係を持っていきたいという運営者の姿勢もあり、退去後も入院先へのお見舞い等に出かけるなどしている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			入居時や日頃より、ご本人やご家族に生活面での希望を聞いている。また、これまでのライフスタイルを聞き、できるだけご本人に合った環境作りに努め、その人らしい生活ができるように努めている。		
			(外部評価)		
			職員は、利用者一人ひとりに話しかけておられ、希望や意向の把握に努めておられる。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			入居時にアセスメントを行い、情報把握に努め、なるべくホームでの暮らしがこれまでのものに近いよう努めている。また、入居後も面会時等に聞くことのできた生活歴に関しては記録に残している。		より詳細な生活歴等の把握に努めていきたい。センター方式の活用など。
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			申し送りや日々の記録から、利用者の日々の心身状態が把握できるようチェック機能を構築しており、その人に合った過ごし方ができるように絶えず考え支援している。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			ご本人やご家族からの希望やアイデアを日頃より伺っているので、そのことをもとに、全職員が意見を出し合って介護計画を作成している。		ご家族を踏まえたケアカンファレンスは行えていないので、ご都合も伺い、直接参加していただく機会を設けていきたい。
			(外部評価)		
			ご本人・ご家族の要望を聞き取り、すべての職員の意見や気付きを採り入れて、介護計画を作成されている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			モニタリングを随時行い、状態変化時には問題提起がすぐになされ、ケアプラン変更ができています。		
			(外部評価)		
			定期的見直しと、入居当初や状況の変化があった時には、見直しを行っておられる。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			日々の個人記録にケアプランチェックを行っており、月ごとには経過記録をまとめることで、介護計画の見直しに活かしている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			グループホーム1ユニット単体で事業を行っているため、介護保険上の多機能性は持っていないが、入院中も家族及び利用者の支援を行ったり、希望がある場合は顔なじみの友人・親戚宅への訪問支援をしている。また、必要に応じて連携施設やグループ内等で支援できる体制になっている。		
			(外部評価)		
			理美容院や医療機関への送迎、友人・親戚等への訪問等、柔軟に支援しておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 警察、消防署には運営者が足を運び必要な協力をお願いしている。また、地元小学生による獅子舞、座・パリーマによる手品や歌、顔なじみのボランティアの沖縄民謡演奏会等、イベントなどにも一緒に参加してもらうなどして、地域の人とも触れ合う機会を持っている。		警察や消防署に対しては、年に1度程度しかホーム側から接点を持っておらず、もっと積極的に連携をとっていきたい。
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 定期的に関く担当者会議には、ケアマネジャーやサービス事業者等の関係者が出席し様々な問題を話し合っており、その担当者会議にも積極的に出席している。そうした中で、必要に応じ利用者やご家族の要望に応えられる支援体制を取っている。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議に地域包括支援センターの職員が参加するようになり、話し合いの機会を定期的に行っているようになった。情報交換や協力関係を築いてきている。		必要に応じ、事業所より積極的に働きかけたい。
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) ご本人やご家族には、入居時に医療を受ける際の希望を聞き、要望に沿って対応している。また、入居後も適切な医療を受ける観点から、必要に応じて話し合いを行っている。  (外部評価) 協力医療機関の往診とかかりつけ医の診療も受けられるよう支援されている。職員が、送り迎え等されることもある。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) ホームには最低月1度は、協力医療機関より医師が往診してくれており、日常的に連絡して相談できる体制にある。また、状態や必要に応じて専門医に相談、受診をしている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価)  職員に看護師が数名いる。管理者自身が看護師でもあり、健康管理や医療活用については職員にも適切な指導をしている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価)  入院時にはご家族と密に話し合い、または連絡を取り合っている。また、病院関係者と情報交換や相談が十分にできるように担当を決め対応している。病院へは毎日のように様子を伺い、今後の事についてもご家族と話し合いながら誠意を持って対応している。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価)  利用者の状態の変化には注意を払っており、逐次関係者が話し合っ方針を決めている。事業所としては、主に運営者がご家族や病院と連携を取り対応している。  (外部評価)  事業所では、終末期や重度化した場合も対応できるよう、取組みたいと考えておられる。		今後、家族会等を利用して重度化や終末期の対応について話し合う場を増やしていきたい。  さらに、事業所の体制作りとともに、ご本人やご家族等とも話し合いを繰り返していかれることが期待される。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価)  これまでホームで終末期を迎えた利用者はおられないが、まず、これまでの状態と違い、重度化する可能性を感じた時には、ご家族と今後の問題について話し合っている。同時に職員間でも対応や対策面について話し合い対応している。また、適切な時期には事業所としての方針を明確にし、関係者に説明している。		重度化した場合や終末期に向けて、ご本人の意向やご家族の意見を日頃から十分に聞き取る機会を設ける必要がある。また、ホームとしても「できること、できないこと」を明確に打ち出しご家族と話し合う必要がある。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価)  これまで利用者が別の場所に移り住みたいといった要望や要請を関係者から受けたことはないが、そうした際には、担当者会議等で情報交換しながらスムーズに対処できるよう日頃から考えている。また、ご家族と話し合い情報交換を充分に行って、納得したうえで進めていく。		今後有り得ることなので、その際のことを職員間で話す機会を設け、サマリー用紙など準備しておく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価) 言葉かけやそのかけ方の大切さは日頃から職員会等でも話題に上げ、話し合っている。個人情報に関する問題は、職業意識を高めることの重要性の中で取り上げ指導している。</p>		<p>プライバシーを損ねるような言葉かけや対応が、全職員がどういった状況でもできているかという点と難しい。勉強会等でもっと意識を高めていきたい。</p>
			<p>(外部評価)</p>		
<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>			<p>(自己評価) 朝の食事をパン食にするかご飯食にするか決めてもらっている。また、ポータブルトイレも自己決定のもと設置しており、レクや作業は強制せず、無理のない範囲で能力に合わせたものを選んでもらっている。普段の生活の中から、本人がどういった希望や要望をもっているか聞いたり感じたりしながら介護に携わっている。</p>		<p>時間がない時など、全ての状況で行えているとは言いがたい。勉強会等でもっと意識を高めていきたい。</p>
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価) 職員の都合を優先せぬように常に話し合っている。また、「自分らしい生活」はホームの理念であり、その人らしい生き方、その人に合ったペースでの暮らしの支援に重点を置くよう、運営者、管理者、職員とも努めている。</p>		<p>特に、要望を口に出して言われることの少ない利用者に対して、もっとご本人の希望を聞き取れるように努めたい。</p>
			<p>(外部評価) 食事の場面で職員は、利用者の状態に合わせ、ご本人のペースでゆっくりと食事ができるよう見守りや介助をされていた。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		(自己評価)  身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれがで できるように支援し、理容・美容は本人の望む 店に行けるように努めている	(自己評価)  美容室には希望にそって店に連絡を取りながら送り 迎えしている。また、利用者専用の化粧箱を用意し、 外出する時など、たまには化粧をして出かけている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひ とりの好みや力を活かしながら、利用者 と職員と一緒に準備や食事、片付けをして いる	(自己評価)  主な調理に関しては外注しているが、積極的に台所 の手伝いやお皿拭きなどの後片付けを手伝ってくださ る利用者もおいでる。また、常にというわけにはいか ないが、一緒におやつを作ったり、食材のしたごしら えを手伝ってもらう機会を設けている。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たば こ等、好みのものを一人ひとりの状況に合 わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価)  現在お酒やタバコを飲まれる人はいない。飲み物や おやつについては、ご本人の希望をできるだけかなえ られるよう要望をお聞きして、ホーム内喫茶等も開い ている。		
56		気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一 人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活 かして気持ちよく排泄できるよう支援して いる	(自己評価)  排泄記録等に日々書きながら個人の排泄パタンをつ かんでいる。また、便秘状況についても申し送りなが ら職員全員が把握し、良好な体調維持と快適な暮らし ができるように支援している。		



## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 入浴の回数等については、ご本人の希望に沿うようにしている。しかし、勤務体制等の問題があり、時間帯や曜日までは自由になっていない。平成18年度末から特殊浴槽も設置して安全・安楽な入浴を心がけている。		今以上に勤務体制を充実させることができれば、もっと自由な時間に入浴が可能になるが、現実では経営状況等にも関わる事であり難しい。
			(外部評価) 入浴について利用者に希望を聞いている。車椅子で入浴できる特殊浴槽を設置された。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) その日の状態を見ながら休憩等を取っていただき、良好な体調保持に努め、一人ひとりに合った生活リズムを考えたり、職員同士連携をとりながら昼夜の調整も行っている。また、就寝前にゆったりとした時間を過ごしてもらい、利用者のペースに合わせることで、利用者の安眠を支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) レクリエーションや創作活動、パズルや計算問題等、その方の得意不得意に合わせて声かけして支援している。また、小鳥の世話や生け花、庭で草木を愛でる等、その人の関心事や趣味に合った役割、楽しみを持って生活を送れるよう支援している。		
			(外部評価) 習字や居室の入り口に飾りを自分で作る等、楽しんでおられる。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) ご本人が希望される場合は、ホームでお小遣いをお預かりし自由に使えるよう支援する等、その人の能力にあった金銭管理を行い支援している。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			いつも行けるというわけではないが、ご本人の希望等もお聞きして、ドライブ、季節の花見、文化祭、展示会や喫茶店等に出かける等の外出支援をしている。また、お天気の良い日は積極的に散歩をしている。		努力はしているが、満足しているとはいえない利用者もおいでる。
			(外部評価)		
			散歩や近所の喫茶店に出かける等、日常生活の中での外出を支援している。		さらに、外に出ることの少ないような方についても、行ってみたいような場所への訪問等、希望や要望を聴き取り、支援していくような取り組みが期待される。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			普段から利用者に外出の希望等を良く聞いている。多少遠くても機会を作り、希望に沿うよう努力しているが、現在、ご家族一緒の外出は花見会以外にはあまりなく、できるだけ機会を持ちたいと思っている。		個別に、ご家族との間で外出の機会を持っていきたいと考えている。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			利用者のご家族や特に親しい人へは電話をかけることを促したり、問いかけたりしている。また、年賀状や手紙のやり取りは、たまにしているが日常的ではない。状況を見ながらもっと支援していく必要がある。		ご家族や特に親しい人との電話のやり取りを、もっと支援していく。
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			ご家族や関係者が何時でも遠慮なく来られる家庭的な雰囲気になっている。また、来客時には湯茶等でもてなし、ゆっくり入所者と話せ、心地よく過ごせるような環境作りを心がけている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 職員会等で機会あるごとに身体拘束の問題について話し合っており、職員の意識を高めている。事業所として自分らしい生き方を理念に掲げ運営しており、真剣に取り組んでいる。		職員の入退社があった場合等、特に勉強会等で随時話し合いの機会を持ち、新規採用の職員に関しても身体拘束についての問題意識を深めるようにしたい。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) ホームは夜間以外は施錠しておらず、戸の開閉時にベル音が鳴るようになっており、外出しやすい利用者については気に掛けて勤務についている。また、職員会や勉強会でも鍵をかけないケアについて、意識を高く持つよう日頃から話し合っている。 (外部評価) 日中は、玄関に鍵をかけず、自由な生活ができるよう取り組まれている。気ままに出かける方にも職員が付き添っておられた。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 昼間は主に居間にて所在確認をしており、夜間は個々の部屋において確認をしている。また、安全性を考えプザーをつける等しながら、ご本人の状態に合わせた対策をとっている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 状況に応じて収納場所を変化させたり、目に付かないところに保管・管理することで対応している。また、縫い針は数を確認し、刃物やハサミは必要な時だけ使い、普段は目に付かない決まった場所で管理している。		ハサミの収納や異食行動のある利用者付近の物品配置については、今後もより細かな注意をしていきたい。
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 管理者が看護師であり、緊急時や急変時の対応については、随時職員に指導している。また、ヒヤリハット報告書等を利用して、事故の再発防止については真剣に考え努めている。		勉強会等で、事故とその予防策について学び、また、緊急時の対応や急変時の対応（蘇生法等）については定期的に復習しておき、いざという時に備えておく必要がある。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 緊急時対応マニュアルを作成し、職員会等で勉強している。また、消防署の担当者にホームに来てもらい普通救命救急、応急手当の指導を受けている。また、緊急時の対応にも勉強会等にて指導しているが、職員全員がその場で適切な対応が取れるよう、今以上に徹底した訓練を行いたい。		勉強会等で、緊急時の対応や急変時の対応（蘇生法等）については、職員全員が適切に対応ができるように定期的に復習、訓練する。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 運営推進会議の議題にも上げ、地域との協力や対策面について話し合いを進めている。また、災害時の協力を近所の方にも直接お願いしに行っており、避難訓練等も定期的実施している。しかし一方で、いざという時に全職員が適切に対応できるか疑問を感じる部分もある。 (外部評価) いざという時に、地域の協力が得られるよう話し合いを進めておられる。		特に夜間の避難誘導について、夜勤者が対応できるよう一人ひとりがイメージトレーニングを行い、消防訓練時に繰り返し実践してみる必要がある。夜勤者一人を想定した避難訓練を行う等して、定期的な訓練を行いたい。 さらに、夜間時の訓練等を含め、いろいろな場面を想定して、防災対策を検討していかれることが期待される。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 日頃の状態の変化については、お便りや面会時、家族会の際に、また必要時には連絡を入れてお伝えしている。その中で、現状理解と心身機能の低下により起こりえる事故の回避説明や話し合いを行っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 朝・夕にバイタルチェックを行い、利用者の体調変化や異変に早期に気づくよう心がけている。また、体調変化等については早めに報告を上げるよう、日頃から申し送りの徹底に努めている。また、すぐに対応できるよう責任者に随時報告している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		<p>服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>(自己評価) 利用者が処方されている薬についてはすぐ分かるように管理しており、誤薬の無いう、薬配箱に入れる際、配膳の際、服薬の際と3回確認を行っている。また、服薬確認や薬の用法・用量、副作用等によって起こる体調変化の理解にも努めている。特に症状の変化の確認については気をつけるよう、日頃から指導されている。</p>		<p>現在、病院より処方されている薬の説明用紙をいつでも見て把握できるようにしているが、薬の副作用等について理解不足の職員もいる。全職員がそれらについて理解できるよう、今後も説明指導していく。</p>
75		<p>便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) おやつでイモ類を使ったお菓子を作ったり、日常の水分補給を心がけ、排便の状態を把握しできるだけ自然排便を促している。頑固な便秘に対しては、医師と相談して下剤や浣腸を使用することもある。</p>		
76		<p>口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価) 毎食後、歯磨きや義歯洗浄を行い、夜間には適宜義歯のポリデント消毒をしている。また、口臭の気になる方に関してはモンダミン等を使用しての口腔ケアを積極的に行っている。</p>		
77	28	<p>栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価) 食事の摂取量や水分補給量については、毎食後きちんとチェックして記録に残しており、必要量摂れているか一人ひとり注意している。また、喉詰めをし易い人や油分制限されている人は、形態や調理を工夫している。</p> <p>(外部評価) 食事の摂取量や水分については、毎食後記録をとっている。食べやすさ等にも配慮され、全量摂取できるよう取り組まれている。</p>		
78		<p>感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>(自己評価) 感染予防のマニュアルを作成しており、職員一人ひとりに配布して、随時、職員会や勉強会等の場でも学習している。また、流行前にインフルエンザの予防接種を職員・利用者ともに行っており、日常的に酸性水やウエルパス、マスク使用についても取り決めをして感染予防に力を注いでいる。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価) 1日1回まな板や包丁は熱湯をかけて消毒し、食器は毎朝洗浄機にかけている。食品は賞味・消費期限をチェックして使用している。また、食事については、業者が調理して真空パックに入れて配送してきたものを指導通り熱を通して出している。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 住宅街にあり、他の住宅と同じような和風建築の建物であり、馴染みやすい玄関の作りになっている。また、周りに草木を植え自然な感じで出入りしやすくなっている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 利用者が生けた花や観葉植物をホーム内に飾り、居間の窓からは、庭への出入りもでき、四季の花を見ながら楽しめる環境になっている。毎日の掃除はもちろん随時汚れたら清掃し、清潔な環境を保持している。また、椅子や手すり等を随時配置したり、必要な設備を利用者の状態に合わせて整えている。</p> <p>(外部評価) 居間からは庭の草木の緑を楽しむことができる。七夕飾等、季節を感じることができるようなしつらえの工夫をされている。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価) ロビーと居間とで思い思いに過ごせるようになってきている。また、畳やソファの配置を考え工夫しながら、絶えず過ごしやすい居場所作りを考えている。</p>		<p>共用空間の中に別空間として作られた場所がないので、利用者が独りになりたい時はロビー側の中庭の前で過ごされている事が多い。チャンスがあれば、一人になれる居場所を考えたい。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 入居当時から、馴染みの物や道具を持ってきてくださるようご家族にもお願いしており、筆筒や鏡台を持ってこられている利用者もおいで。また、ご家族の写真を飾ったりして、居心地の良い居室作りを工夫している。		
			(外部評価) 使い慣れたタンスや鏡台等が持ち込まれており、ご家族の写真やお孫さんの作った切り絵等を飾っておられる居室もつかえた。畳を敷いた居室もあった。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 自然換気ができる建て方になっている(24時間換気システム)が、季節や時間帯によって職員一人ひとりが注意を払い、換気を行うようにしている。また、室内の適温調整も心がけている。		換気や室内温度は職員一人ひとりの感覚によって幾分違っている。できれば統一した換気や気温管理を徹底したいので、室温は感覚に頼らず温度計を見て調節する等徹底していきたい。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 下肢に障害のある方はなるべく洗面所やトイレの近くに座ってもらったり、通路や公共の場を塞ぐ形で物を置かないよう整理整頓にも気をつけている。また、安全性と自立度を考え、ワイヤレスや滑り止めマットを配置している居室もある。		
			(外部評価) 本人の状態にあわせて工夫し、より良い生活環境を整えている。また、できることの声かけを心がけ、本人の状態に合わせて工夫した介護に努めている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 本人の状態にあわせて工夫し、より良い生活環境を整えている。また、できることの声かけを心がけ、本人の状態に合わせて工夫した介護に努めている。		全職員が、利用者一人ひとりのわかる力を活かした介護を実践できるよう、勉強会等を通じてより一層の意識向上に努めたい。
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 居間から直接庭に出ることもでき、草花や樹木を植えて愛でたり、庭弄りをしたり、また庭から取ってきた花を生けてホーム内に飾って楽しんでいる利用者もおられる。また、たまには庭に出て芋炊き等をして楽しんでいる。		
			(外部評価)		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	利用者との会話の時間を積極的に持っていて、それぞれの方の思いや願い、意向はその会話の中でよく出たりつかみ取れることも多い。また、それらについてスタッフ間でも話し合う時間も持っている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	午前中は比較的時間があり、利用者と職員と一緒にゆったりと話したり過ごせる時間も持っている。また、食事を業者から外注することになったことで、一方では利用者と過ごせる時間の幅が広がり、ゆとりができています。そうした面での運営者側の理解もある。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	しんどい時や眠い時には、各個人別に休んでもらうよう職員も心がけており、また、あせることのないよう声かけも行っている。起床時間についても、その夜の睡眠時間等によって夜勤者が個別に対応しており、各個人のペースに合わせた支援については、勉強会でもよくテーマとして取り上げられている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員に支援されることを嫌がる利用者もおられるが、ほとんどの方は笑顔で話しかけに答えられ、また、利用者にも生き生きとした笑顔が見られることが多いから。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	戸外への散歩は日頃からよく出かけており、気分転換になる外出はしているものの、「行きたい所」に「行きたいだけ」出かけているとはいえない面もある。また、戸外へ行きたいと表出される利用者も限られており、その意向が把握しきれない利用者もおられる。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	病院との連携もとれており、食事も配慮し、体重測定も定期的に行い、歩行訓練も行っている。毎日朝・夕にバイタルチェックを行う等、常に健康管理には気をつけている。また、介護者に正・准看護師免許保持者も数名おり、介護者も意識を持って働いている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	不穏時は利用者から話を聞き、対処している。しかし、一方で帰宅願望が強い利用者もおられ、ご家族の都合やホーム職員数など様々な点から、外出や外泊で対応できないこともあり、万全とはいえない。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ① ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会の際には会話をし、要望や相談などがないかよく話す機会を持っていて、ご家族から出た要望等に対しては可能な限り対応している。また、面会が少ないご家族に対しても、運営者自身が連絡を取り、ご家族の状況等については把握し信頼関係ができていられる。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③ たまに 4 ほとんどない	不定期だがよく会いにこられる知人の方はおられる。また、近所の方や沖縄民謡等ボランティアの方が訪問してくださっている。



